

平成 23 年度 第 3 回石狩市行政評価委員会

日時：平成 23 年 6 月 3 日（金） 13 時 00 分～

場所：市役所 3 階 庁議室

企画經濟部 企画課

【会議次第】

1 開 会

2 議 題

- (1) 施策「景観づくりの推進」の状況について
- (2) 施策「公園・緑地・水辺の整備」の状況について

4 その他

5 閉 会

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	建設水道部
めざすまちのテーマ等	4 豊かな自然を守り育て活かすまち		職名	部長
施策項目	(4)景観づくりの推進		氏名	南 治彦
			TEL	72-3136

【1 施策の目的】

自然とまち並みを活かして特色ある景観を保全・創出し、心地よい住環境のもとで生活できるまちをめざす。

【2 計画策定時の状況】

暑寒別天売焼尻国定公園の雄大な自然や眺望鮮やかな海沿いの風景、さらには、石狩川河畔のミズバショウ群生地や石狩灯台周辺の花浜植物群など、身近な自然景観がある。
また、田園風景やポプラ並木・防風林・街路樹などのみどりにつつまれた街並みが形成されている。
これらの景観を将来にわたって守り育て、さらにより良い景観を創出していくためには、市民・事業者・行政が共通認識を持ち、今後においても長期的な取り組みを進めていく必要がある。

【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	石狩の自然景観全般に満足している市民の割合					%	43.1	↗
指標2	石狩のまち並み景観に満足している市民の割合					%	35.9	↗
指標3								
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況		H17実績値 との比較
指標1	43.1	40.3	43.4	46.4	38.4	×		×
指標2	35.9	32.5	35.5	34.1	27.7	×		×
指標3								
指標4								

○到達、×未達 ○向上、×低下

【4 現状把握と今後の方向性】

(1)現状の評価と課題

(評価)

・自然を保護することは勿論、都市景観(街並み美化)を進めるため、緑化推進活動や環境美化活動などに主軸を置いて取り組んでいる。特に、平成9年度から実施している「花いっぱい運動」は、毎年、参加団体の理解と協力により、幹線道路沿いは色彩豊かな街並みが形成されており、参加団体も年々増加傾向にあるなど市民意識への広がりをみせている。
・成果指標の実績値は下がっているものの、直接的な要因が見当たらないことから、概ね平均的な推移と認識している。

(課題)

・都市景観の保全を図るため、違法な屋外広告物の簡易除却を実施し、街の環境美化を図ってきているが、違法な屋外広告物が後を絶たない。
・花いっぱい運動は、着実に参加団体が増加し、景観形成への理解が深まり、地域の景観づくりに寄与しているが、その反面、予算上の制約から、花苗の配布数が減少しており、配布数の増加を求める声が多くなってきている。

(2)施策を取りまく状況の変化(社会環境の変化、住民、議会等からの要望等)

・「景観」は、自然景観をはじめ農村景観や都市景観、河川景観等々、非常に幅広い分野であるとともに、人それぞれに多様な価値観を持ち合わせている側面を有している。
・一般的には、土地利用の規制などにより環境を維持する取り組み手法もあるが、私権の制限等とも関係があり調整を図る必要がある。
・良質な景観を維持するためには、行政だけの取り組みだけでは難しく、市民意識の高まりも重要である。
・花いっぱい運動で町内会などに配布している花の苗数が、申込数の約6割程度にとどまっている状況で、今後、持続可能な運動にしていくための仕組みづくりが必要である。

(3)今後の取り組み方針(改善・改革の方向性)

・市のイベントや広報、ホームページ等を活用し、屋外広告物の啓蒙活動を実施するほか、看板等の違法設置者に対して指導を行う。
・市としても、花いっぱい運動を持続可能な運動とするため、自宅で花を種から育てる実証実験を昨年に引き続き継続して実施し、実効性の有無について検証する。

【5 パブリックコメント】

--

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見
(2)今後の方向性に関する意見
(3)施策等に関する評価意見

【7 行政評価会議（最終評価）】

(1)重点的に取り組む事項(新に取り組む事業、規模拡大を図る事業等)
(2)見直しすべき事項(廃止、縮小、統合、改善を図る事業等)
(3)その他特記事項

施策名 景観づくりの推進

	人件費	事業費	総コスト
平成22年度施策コスト	640	-	640 千円

市民一人あたり
10 円

施策の体系		担当課	H22決算					現状の課題 (課長評価1次)	今後の方向性 (課長評価1次)
			人工 (関係課含 む)	特定財源					
目次No.	事業名			うち地方債	一般財源	事業費計			
①景観づくりを推進するための意識の醸成			実施事業はありません。						
②地域価値向上の要素となる良好な景観の保全									
6-1	1【再掲】 自然保護推進事業	環境課					-	・高齢樹記念保護樹木の維持管理 ・合併により、拡大した自然地域の保護・活用	海浜植物保護センターと連携し、観察会・自然環境調査を行い、調査結果等により、保護・活用にに向けた検討を進める。
6-2	2【再掲】 海浜植物保全事業	石狩湾海浜植物保護センター					-	植生地を車両で走行する者の自然保護意識の欠如	意識啓発を図る。自然環境のデータベース化を進めていく。法令等による規制も検討していく。
③より良い景観の創出									
再掲	3【再掲】 緑化推進団体支援事業	都市整備課					-	この事業の評価は施策「公園・緑地・水辺の整備」に掲載しています。	
再掲	4【再掲】 花いっぱい運動事業	都市整備課					-		
④その他									
6-3	5 屋外広告物簡易除却事務	建築課	0.07	-	-	-	-	違反広告物が依然無くならない。	市のホームページや広報誌等を活用し、違反広告物や設置者（許可を受けた者）等への啓発を行う。
	6						-		
	7						-		
	8						-		
	9						-		
	10						-		
	11						-		
	12						-		
	13						-		
	14						-		
	15						-		
	16						-		
	17						-		
	18						-		
	19						-		
合 計			0.07	-	-	-	-		

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	6 - 1	事業名	自然保護推進事業							
総合計画	マ	4	豊かな自然を守り育て生かすまち		4	豊かな自然を守り育て活かすまち				
	策	1	環境施策の推進		4	景観づくりの推進				
	施 策 (小)	4	自然環境の把握と保全の推進		2	地域価値向上の要素となる良好な景観の保全				
平成23年度担当	所管	環境室 環境課	課長	有田 英之	担当	工藤 隆之	電話	72-3240	内線	365
平成22年度担当	所管	環境室 環境課	課長	有田 英之	担当	鍋谷 英幸				
予算科目	会 計	一般会計 (4 款 2 項 4 目)		事業名	自然保護推進事業費					
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	自然環境保全法、自然公園法、道自然環境等保全条例、市自然保護条例等									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 不明 年度 ~ 永続 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市民(市外からの来訪者も含む。)	→	対象数 不詳
	自然環境	→	対象数 全般
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	自然環境を把握・保護し、良好な状態を保ち、後世に豊かな自然を引継ぐ。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	・市民との協働により自然環境調査を実施し、自然環境データベースを整備する。 ・収集・把握した情報を市民及び事業者に発信する。 ・利用者のモラルや保護意識の向上を促すため、観察会やボランティア清掃等の事業を実施する。 ・黄金山登山等、快適な自然とのふれあいの場の確保を行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	近年、生活様式の変化や余暇時間の増加により、自然とふれあう機会が増えており、昨年は、名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議が開催されるなど、自然環境保全に対する関心が高まっている。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
行政評価委員会において、「テーマが大き過ぎて具体性を欠いており、自然保護の考え方が曖昧」と指摘されている。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
海浜保護センター事業と連携し、保全活動に取り組む団体が集う全国規模の「ふるさと海辺フォーラム」を石狩浜で開催した。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円	21	25	21	21
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	101	105	105	244
	小計(A)		千円	122	130	126	265
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.58	0.50	0.23	特定財源名及び補助率・充当率 自然環境事務取扱交付金
		正職員(浜)市民生活課)	人	0.10	0.10	0.10	
		従事正職員の人件費	千円	6,029	5,488	3,019	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	6,029	5,488	3,019	
	総コスト(A)+(B)		千円	6,151	5,618	3,145	

事業費の使途等	・記念保護樹木保全事業 100 千円 ・黄金山登山道環境整備事業 159 千円 ・北海道自然公園協会負担金 6 千円
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	環境調査回数	回	目標値	3	4	3	3
			実績値	3	1	0	
			達成率	100.0	25.0	0.0	
	自然観察会開催回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	環境調査参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	13	6	0	
			達成率				
	自然観察会参加人数	人	目標値	50	50	50	50
			実績値	23	32	30	
			達成率	46.0	64.0	60.0	
	石狩の自然景観全般に満足している市民の割合	%	目標値	43.1	43.1	43.1	43.1
			実績値	43.4	46.4	38.4	
			達成率	100.7	107.7	89.1	

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	達成 概ね達成 ● 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	高い ● 概ね効率的 低い	調査等のボランティアの無償化を進めており、コストに対する効果は概ね効率的である。
	成果の向上余地	● かなりある ● 多少ある さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない	自然保護意識は短期間では醸成されないものであり、また、植生データの収集が滞り保全活動に支障が生ずる。
現状の課題		・高齢樹記念保護樹木の維持管理 ・合併により、拡大した自然地域の保護・活用				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 海浜植物保護センターと連携し、観察会・自然環境調査を行い、調査結果等により、保護・活用に向けた検討を進める。				
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 ・清掃などは引続きボランティアを活用、観察会などでは参加費を徴収することでコストの縮減を図っていく。 ・記念保護樹木は、高樹齢化に伴う維持管理費用の増大が見込まれる。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長					
市民意見等に対する回答			反映				
			一部反映				
			不採用				
			実施済み				
			参考				
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
			概ね達成			概ね効率的	
			達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
			高い			小さい	
		高くない	ない				
現状の課題							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他					
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他					

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	6 - 2	事業名	海浜植物保全事業							
総合計画	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち				4	豊かな自然を守り育て活かすまち		
	策	1	環境施策の推進				4	景観づくりの推進		
	施 策 (小)	4	自然環境の把握と保全の推進				2	地域価値向上の要素となる良好な景観の保全		
平成23年度担当	所管	石狩浜海浜植物保護センター	課長	有田英之	担当	内藤華子	電話	72-3240	内線	357
平成22年度担当	所管	石狩浜海浜植物保護センター	課長	有田英之	担当	内藤華子				
予算科目	会 計	一般会計 (4 款 2 項 4 目)				事業名	石狩浜海浜植物保護センター運営費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	海岸法、河川法、環境基本法、環境基本条例、石狩川河口海浜植物等保護条例									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 53 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩湾新港東端～無煙浜の海浜地域	→	対象数 240 ha
	海浜植物等保護区(石狩海岸240haのうち、車乗り入れの監視等を強化している区域)	→	対象数 16.5 ha
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	海浜植物群落を含む海浜生態系を将来にわたって良好な状態で維持する。 海浜環境保全に関する意識を広く浸透させる。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	・海浜植物保護センターを活用し、石狩浜の自然情報の提供を行う。 ・保護センター事業計画による海浜植物等保護区の拡大及び監視を行う。 ・石狩浜環境保全連絡会議の運営により海岸管理者等と連携し、車乗り入れ防止柵設置等による海浜環境保全対策の実施。 ・研究機関と連携した植生を含む生態系回復試験や生物多様性に関するモニタリングの実施。 ・印刷物の配布、フォーラム、自然観察会の開催等による海浜環境保全に対する意識啓発事業を行う。 ・自然環境の保全に取組むボランティア育成講座の開催やボランティア団体の活動支援を行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	全国的にも減少が進んでいる海浜植物の乱採、車両走行による海浜植生の破壊などにより、海浜生態系の劣化や郷土を代表するすぐれた自然景観の消失が著しく進んできた。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
・海浜自然環境を次世代に残すための保全対策に関する要望。(市民、学識経験者、議会等) ・海浜レジャー利用のあり方やごみの問題等に対する保全対策に関する要望。(海岸管理者等) ・石狩浜の自然環境に関する学習を学校の授業での必須テーマにするなど、教育現場との連携を進めるべきとの意見。(市民)			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
・保全活動に取り組む団体等が集う全国規模の「ふるさと海辺フォーラム」を石狩浜で開催、また、HP等により石狩浜の保全に関する情報発信を行った。 ・石狩浜環境保全連絡会議を踏まえた、車乗り入れ防止柵の強化、車乗り入れ規制等さらなる植生保全対策の検討を行った。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	57		159	500
		一般財源	千円	2,303	2,145	2,291	2,905
		小計(A)	千円	2,360	2,145	2,450	3,405
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.40	0.50	0.55	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				地域づくり研修会 開催支援助成金 (振興協会)
		従事正職員の人件費	千円	3,546	4,573	5,030	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	3,546	4,573	5,030	
		総コスト(A)+(B)	千円	5,906	6,718	7,480	

事業費の使途等	・石狩川河口海浜植物等保護地区監視員報酬 1,900千円 ・石狩海浜地植生保護柵維持管理業務委託 247千円 ・石狩海浜植物保護センター運営委員会委員報酬 78千円 ・ふるさと海辺フォーラム開催 159千円
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	海浜植生地の見回り回数	回	目標値	27	27	27	27
			実績値	27	33	30	
			達成率	100.0	122.2	111.1	
	ボランティア活動日数	日	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	19	38	45	
			達成率				
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	自主規制海浜植生地の走行車両確認数	台/日	目標値	0	0	0	0
			実績値	0.76	0.41	0.19	
			達成率				
	保全に関わるボランティア参加人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	213	241	358	
			達成率				
	保護センターHPアクセス件数(月平均)	件	目標値		-	1,281	1,336
			実績値		1,220	1,273	
			達成率			99.4	

課長評価(1次)								
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	ボランティアを活用し、必要最小限の経費で行っている。
		●	概ね達成			●	概ね効率的	
		達成していない		低い				
	成果の向上余地		かなりある	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	●	大きい	
●		多少ある				小さい		
		さほどない				ない		
現状の課題		植生地を車両で走行する者の自然保護意識の欠如						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ● 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 ポスターやチラシの配布及びHP等により意識啓発を図るとともに、より細やかな情報発信を行えるよう、石狩浜の自然環境のデータベース化を進めていく。また、未規制地区については、法令等による規制も検討していく。						
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 自然環境調査等は直営での調査やボランティアの協力及び研究機関等との連携により、最小限のコストで実施していく。また、補助金等の活用も検討し、コスト増の抑制を図っていく。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答			反映			
			一部反映			
			不採用			
			実施済み			
			参考			
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性 費用対効果の視点での検証	高い	
			概ね達成		概ね効率的	
			達成していない		低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性 事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
			高い		小さい	
		高くない		ない		
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他				
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号		—		事業名		緑化推進団体支援事業								
総合計画	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち				4	豊かな自然を守り育て活かすまち						
	策	2	公園・緑地・水辺の整備				4	景観づくりの推進						
	策(小)	2	水とみどりのふれあい空間を創造				3	より良い景観の創出						
平成23年度担当		所管	建設水道部 都市整備課		課長	青木 雅俊		担当	岡田 祥治		電話	72-3139	内線	252
平成22年度担当		所管	建設水道部 都市整備課		課長	本間 孝之		担当	勝又 治孝					
予算科目		会計		一般会計 (4款 2項 5目)		事業名		緑化推進事業費						
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)												
実施形態		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他												
根拠法令、条例等		公園緑地事業実務要領												
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 12 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	緑化推進団体(花と緑の協議会、フラワーマスター連絡協議会、緑化推進協議会)等	→ 対象数	3 団体
		→ 対象数	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	団体を通して、緑化推進を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	市内の緑化推進団体の活動を支援する。		
	・花と緑の協議会・・・緑の募金、石狩川歴史の森植樹祭、花壇コンクール、花めぐりツアーなど(関係18団体) ・フラワーマスター連絡協議会・・・花めぐりツアー、小さな写真展、市民向け講習会など(関係1団体) ・緑化推進協議会・・・はまなすの丘景観保全作業、花川南防風林希少植物保護作業など(関係6団体)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	地球温暖化などの問題から、市内の緑化活動は行政のみならず民間の団体やボランティアグループにおいて活発化している。		
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業 の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	50	50	50	38
	小計(A)			千円	50	50	50	38
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	0.50	0.50	0.50	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()		人				
		従事正職員の人件費		千円	4,433	4,573	4,573	
		その他間接経費		千円				
		小計(B)		千円	4,433	4,573	4,573	
	総コスト(A)+(B)			千円	4.483	4.623	4.623	

事業費の使途等	【消耗品費】	
	石狩川歴史の森植樹祭 (苗木ポット等)	50千円

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	石狩川歴史の森植樹祭	本	目標値	250	250	250	250
	目標:事業計画		実績値	250	250	250	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	フラワーマスター連絡協議会(市民向け講習会)	回	目標値	1	1	1	1
	目標:事業計画		実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	はまなすの丘景観保全作業	回	目標値	2	2	2	2
	目標:事業計画		実績値	2	2	2	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	花と緑の推進活動に参加したことがある市民の割合	%	目標値	53.2	53.2	53.2	53.2
	目標:総合計画		実績値	63.6	58.8	58.3	
			達成率	119.5	110.5	109.6	
	フラワーマスター連絡協議会(市民向け講習会)参加人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	40	40	50	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	● 達成 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い 概ね効率的 低い	最低限の予算の中で高い効果を上げている。
	成果の向上余地	かなりある 多少ある ● さほでない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない	市民との協働事業なので、一方的には廃止できない。
	現状の課題	市民の参加活動割合が低下してきている。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 各団体の活動内容のPRを進めていく。				
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 引き続き、最小限のコストで実施していく。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	
			概ね達成				概ね効率的	
			達成していない				低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響		大きい	
			高い				小さい	
			高くない				ない	
現状の課題								
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他						
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他						

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号		-		事業名		花いっぱい運動事業										
総合 計 画	テ	一	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち					4	豊かな自然を守り育て活かすまち					
	施 策			2	公園・緑地・水辺の整備					4	景観づくりの推進					
	施 策 (小)			3	花があふれるまちの創出					3	より良い景観の創出					
平成23年度担当		所管		建設水道部 都市整備課			課長	青木 雅俊		担当	岡田 祥治		電話	72-3139	内線	252
平成22年度担当		所管		建設水道部 都市整備課			課長	本間 孝之		担当	勝又 治孝					
予算科目		会 計		一般会計 (4 款 2 項 5 目)					事業名		花いっぱい運動事業費					
事務分類				☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性) ☒ 高い ☐ 低い												
実施形態				☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他												
根拠法令、条例等				公園緑地事業実務要領												
事業期間				☐ 単年度のみ ☒ 平成 9 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	花いっぱい運動実施団体(町内会、小中学校、保育園、民間団体など)	→	対象数 不詳
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	市道植樹帯、公園等の公共施設の美化を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	花の苗などを配布し、市民との協働により、公共スペースを花で飾る。		
	・11月～12月 次年度花いっぱい運動参加団体・申込苗数受付 ・1月 花苗購入 ・2月 花いっぱい運動参加団体へ配布数決定通知 ・5月～6月 花苗配布・植え込み		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	一部団体が、地域の美化運動の一環として、以前から自主的に取り組んでいたものを、平成8年市政施行を機に平成9年から市制記念事業として市内でもまちづくり推進と併せて町内会活動の活性化を図ることを目的に実施している。		
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
実施団体から、植樹帯の黒土補充要望や花の配布数の増加の要望がある。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
H21年度に引き続き、自宅での花の種子からの栽培が可能かどうか、市職員をはじめ、花と緑の協議会役員やフラワーマスターの協力により、試験栽培を実施した。			

事業 の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	3,570	3,979	3,979	4,300
	小計(A)			千円	3,570	3,979	3,979	4,300
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	0.50	0.50	0.50	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()		人				
		従事正職員の人件費		千円	4,433	4,573	4,573	
その他間接経費		千円						
小計(B)		千円	4,433	4,573	4,573			
総コスト(A)+(B)			千円	8,003	8,552	8,552		

事業費の使途等	【消耗品費】		
	花苗 1年草	41,756株	3,925千円
	種子 ミニひまわり	8,570粒	54千円

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	配布団体	団体	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	111	112	116	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	配布苗数	株	目標値	41,117	41,756	41,480	41,451
			実績値	41,117	41,756	41,480	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	目標:予算措置数		目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	花と緑の推進活動に参加したことがある市民の割合	%	目標値	53.2	53.2	53.2	53.2
			実績値	63.6	58.8	58.3	
			達成率	119.5	110.5	109.6	
	目標:総合計画		目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	● 達成 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い 概ね効率的 低い	街路植樹帯や公園に花苗を植えることで、まちの景観や施設の維持管理上の効果がある。
	成果の向上余地	● かなりある ● 多少ある さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない	市民との協働事業であり、廃止による影響は大きい。
現状の課題		黒土補充や花の配布数の増加。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ● 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 黒土の補充については計画的に進めていく。花の配布数の増加については方法も含めて検討を行う。				
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 コスト削減を図るために、自宅での種子からの栽培に向けて、試験栽培を継続実施していく。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	
			概ね達成				概ね効率的	
			達成していない				低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響		大きい	
			高い				小さい	
			高くない				ない	
現状の課題								
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他						
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他						

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号		6 - 3		事業名		屋外広告物簡易除却事務						
総合計画	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち									
	策	4	景観づくりの推進									
	施 策 (小)	4	その他									
平成23年度担当		所管	建設水道部 建築課		課長	佐々木 努	担当	萩原 忠賢	電話	72-3162	内線	221
平成22年度担当		所管	建設水道部 都市開発課		課長	阿部 光俊	担当	萩原 忠賢				
予算科目		会 計		一般会計 (8 款 5 項 1 目)			事業名		都市計画事務費			
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等		屋外広告物法・北海道屋外広告物条例										
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 不明 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	屋外に貼られた違反広告物。	→	対象数 不詳
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	都市景観の保全を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	電柱や街路灯に貼られた違反広告物を除却する。 除却実績を北海道へ報告する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	北海道からの権限移譲により実施		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業 の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円				
	小計(A)			千円	0	0	0	0
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	0.02	0.02	0.02	特定財源名及び補助率・充当率 北海道権限委譲事務交付金 (うち屋外広告物)
		正職員(建)管理課)		人	0.05	0.05	0.05	
		従事正職員の人件費		千円	620	640	640	
		その他間接経費		千円				
		小計(B)		千円	620	640	640	
総コスト(A)+(B)			千円	620	640	640		

事業費の 使途等	
-------------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	除却された違反広告物枚数	枚	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	808	977	544	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	石狩のまち並み景観に満足している市民の割合	%	目標値	35.9	35.9	35.9	35.9
			実績値	35.5	34.1	27.7	
			達成率	98.9	95.0	77.2	
	目標:総合計画成果指標		目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	☒ 高い ☐ 概ね効率的 ☐ 低い	事業予算は計上せずに最小限のコストで効率的に実施し、一定の効果をj得ている。
	成果の向上余地	☒ かなりある ☐ 多少ある ☐ さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	☒ 大きい ☐ 小さい ☐ ない	違反広告物が野放しになる。
現状の課題		違反広告物が依然無くならない。				
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☒ 現行通り ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 市のホームページや広報誌等を活用する中で、違反広告物や設置者等への啓発を行う。				
	事業コスト	☐ 増加 ☐ 現行水準 ☐ 減少 ☒ 予算なし ☐ その他 引続き、事業予算は計上せず、最小限のコストで取り組む。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他				
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他				

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	建設水道部
めざすまちのテーマ等	4 豊かな自然を守り育て活かすまち		職名	部長
施策項目	(2)公園・緑地・水辺の整備		氏名	南 治彦
			TEL	0133-72-3136

【1 施策の目的】

公園・広場、親水・親緑空間の整備のほか、子どもから高齢者まで、すべての人が憩える空間を確保し、快適でうるおいのあるまちをめざす。

【2 計画策定時の状況】

市民との協働による緑化活動や公共スペースや身の回りに花を飾る活動を、さらに推進していくことが求められているとともに、街区公園など地域に身近な公園については、管理のあり方の検討が必要となっている。
これまでの公園づくりとは異なり、地域性や歴史性を活かした、新たな発想に基づく空間づくりが求められている。

【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	都市計画区域内の一人あたり都市公園面積					m ²	17.0	17.5
指標2	都市公園箇所数					箇所	133	135
指標3	花と緑の推進活動に参加したことがある市民の割合					%	53.2	55.0
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況	H17実績値 との比較	
指標1	18.5	21.9	21.9	21.9	21.9	○	○	
指標2	134	135	135	135	135	○	○	
指標3	53.2	62.0	63.6	58.8	58.3	○	○	
指標4								

○到達、×未達 ○向上、×低下

【4 現状把握と今後の方向性】

(1)現状の評価と課題

(評価)

・公園の整備や花いっぱい運動など緑化推進活動の普及により、目標値は達成している。

(課題)

・公園施設の老朽化による更新費用が今後多額に必要となってくる。事後補修的な維持管理から予防保全的な維持管理に切り替え、今ある施設の長寿命化を図る必要がある。

・緑地帯に植林されたポプラが成長し、近隣住宅へ悪影響を及ぼすケースも発生しており、適切な維持管理が求められている。

(2)施策を取りまく状況の変化(社会環境の変化、住民、議会等からの要望等)

・少子化やテレビゲームの普及や、公園内でのボール遊び等の規制により、公園で遊ぶ子供達が少なくなっている状況の中で、特に花川北地区では、イベントスペースへの転換や高齢者用遊具の設置要望がある。

・地域住民の中に公園に求める機能として、防災を意識した意見が多くなってきている。

(3)今後の取り組み方針(改善・改革の方向性)

・公園施設長寿命化計画に基づき、施設の劣化や破損などの不具合が確認されてからの修繕である「事後保全的修繕」から、「予防保全的管理」への転換を行うことにより、安全性の確保や施設機能の向上、ライフサイクルコストの縮減を図る。

・遊具等の更新の際には、地元町内会の意見を十分参考にしながら、公園環境の改善を図っていく。

【5 パブリックコメント】

--

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見
(2)今後の方向性に関する意見
(3)施策等に関する評価意見

【7 行政評価会議（最終評価）】

(1)重点的に取り組む事項(新に取り組む事業、規模拡大を図る事業等)
(2)見直しすべき事項(廃止、縮小、統合、改善を図る事業等)
(3)その他特記事項

施策名 公園・緑地・水辺の整備

	人件費	事業費	総コスト	市民一人あたり
平成22年度施策コスト	48,199	177,745	225,944 千円	3,704 円

施策の体系			担当課	H22決算					現状の課題 (課長評価1次)	今後の方向性 (課長評価1次)
				人工 (関係課含 む)	特定財源					
	うち地方債	一般財源			事業費計					
目次No.	事業名									
①公園の整備										
5-1	1	公園整備事業	都市整備課	1.20	16,925	19,900	1,025	37,850	公園施設の老朽化。	公園施設長寿命化計画に基づき、地域のニーズにあった利用形態を考慮し、引き続き整備を進めていく。
②水とみどりのふれあい空間を創造										
5-2	2	緑化推進団体支援事業	都市整備課	0.50	-	-	50	50	市民の参加活動割合が低下してきている。	各団体の活動内容のPRを進めていく。
5-3	3	河川緑地広場整備事業	建)管理課	1.40	-	-	1,343	1,343	管理する地域町内会の高齢化や人材不足など、将来にわたる安定的な管理体制の維持。	市としても可能な限りバックアップを行い、市民の憩いの場を維持できるよう努める。
③花があふれるまちの創出										
5-4	4	花いっぱい運動事業	都市整備課	0.50	-	-	3,979	3,979	黒土補充や花の配布数の増加。	黒土の補充については計画的に進め、花の配布数の増加は、方法も含めて検討を行う。
④豊かな森林などの自然の保全・育成・活用										
5-5	5	あつたふるさとの森事業	あつたふるさとプロジェクト担当	0.37	436	-	441	877	さらに多くの市民や団体に参画してもらうための、新たな仕組みづくりが必要。	新たな市民参加の手法の導入や、資金調達など、様々な観点から内容を再検討する。
5-6	6	厚田の森支援組織サポート事業	厚)地域振興課	0.20	-	-	1,500	1,500	会員は60名ほど存在するが、事業参加者は限られた人で行われており、多くの参加者により活動することが課題。	より多くの方が参加できるよう、これまで活動規模の小さかった「植樹」活動などの支援内容の充実に向け、検討を進める。
-	7	国有防風保安林管理事務	建)管理課	0.10	-	-	2	2	この事業は本年度事業評価対象外ですが、「市民一人あたりの事業費」を算出するために記載しています。	
⑤公園維持管理の推進										
5-7	8	公園維持管理事業	建)管理課	0.70	509	-	126,600	127,109	老朽化した公園施設。	公園施設長寿命化計画に基づき計画的な修繕を進めていく。
5-8	9	公園改修事業	建)管理課	0.30	1,000	-	4,035	5,035	老朽化した公園施設。	野球場やテニスコートなど、公園施設全般の計画的改修を進める。
	10							-		
	11							-		
	12							-		
	13							-		
	14							-		
	15							-		
	16							-		
	17							-		
	18							-		
合 計				5.27	18,870	19,900	138,975	177,745		

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 - 1	事業名	公園整備事業							
総合計画	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち							
	策	2	公園・緑地・水辺の整備							
	策(小)	1	公園の整備							
平成23年度担当	所管	建設水道部 都市整備課	課長	青木 雅俊	担当	岡田 祥治	電話	72-3139	内線	252
平成22年度担当	所管	建設水道部 都市整備課	課長	本間 孝之	担当	勝又 治孝				
予算科目	会計	一般会計 (8 款 5 項 5 目)		事業名	公園整備事業費					
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	公園緑地事業実務要領									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 不明 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	公園	→	対象数 135 箇所
	公園利用者	→	対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	安全で快適な公園環境の確保。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	・公園の現状把握を行う。 ・地元町内会との調整を行う。 ・公園施設長寿命化計画の作成、更新の検討を行う。 ・国庫補助事業を活用した公園の整備を行う。 (H22年度 老朽化した4公園の整備)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	公園数を増やす整備事業から、既存の公園施設を長寿命化する事業に移行してきている。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		国庫支出金	千円		20,000	16,925	15,000
		道支出金	千円				
		地方債	千円			19,900	18,000
		その他	千円				
		一般財源	千円		24,000	1,025	2,741
		小計(A)	千円	0	44,000	37,850	35,741
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		1.20	1.20	特定財源名及び補助率・充当率 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業 (施設1/2)
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	0	10,975	10,975	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	0	10,975	10,975	
		総コスト(A)+(B)	千円	0	54,975	48,825	

事業費の 使途等	【工事請負費】	
	花川南かすみ公園整備工事	29,188千円
	花川南第一アカシヤ公園、花川北飛行機公園	4,148千円
	【委託料】	
	花川南八一公園実施設計業務委託	2,048千円
事業費の 使途等	【物件費】	
	その他事務費	2,466千円

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	改築・更新した公園の数	箇所	目標値	0	11	3	4
			実績値	0	11	3	
	目標:公園施設長寿命化計画		達成率	#DIV/0!	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位		H20	H21	H22	H23
	都市計画区域内の一人あたり都市公園面積	㎡	目標値	17.5	17.5	17.5	17.5
			実績値	21.9	21.9	21.9	
	目標:総合計画		達成率	125.1	125.1	125.1	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	● 達成 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い 概ね効率的 低い	地域ニーズを踏まえた計画的な整備により、利用者の増加が見込まれることから費用対効果は高い。
	成果の向上余地	かなりある 多少ある ● さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない	公園及び地区住環境に影響がある。
	現状の課題	公園施設の老朽化。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 公園施設長寿命化計画に基づき、地域のニーズにあった利用形態を考慮し、引き続き整備を進めていく。				
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 公園施設長寿命化計画により、計画的に事業を進める。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長					
市民意見等に対する回答			反映				
			一部反映				
			不採用				
			実施済み				
			参考				
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
			概ね達成			概ね効率的	
			達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
			高い			小さい	
			高くない			ない	
現状の課題							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他					
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他					

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号		5 - 2		事業名		緑化推進団体支援事業									
総合計画	テ	一	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち			4	豊かな自然を守り育て活かすまち						
	施		策	2	公園・緑地・水辺の整備			4	景観づくりの推進						
	施 策 (小)		2	水とみどりのふれあい空間を創造			3	より良い景観の創出							
平成23年度担当		所管		建設水道部 都市整備課		課長	青木 雅俊		担当	岡田 祥治		電話	72-3139	内線	252
平成22年度担当		所管		建設水道部 都市整備課		課長	本間 孝之		担当	勝又 治孝					
予算科目		会 計		一般会計 (4 款 2 項 5 目)				事業名		緑化推進事業費					
事務分類				☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)											
実施形態				☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他											
根拠法令、条例等				公園緑地事業実務要領											
事業期間				☐ 単年度のみ ☒ 平成 12 年度 ~ 未定 年度											

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	緑化推進団体(花と緑の協議会、フラワーマスター連絡協議会、緑化推進協議会)等	→ 対象数	3 団体
		→ 対象数	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	団体を通して、緑化推進を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	市内の緑化推進団体の活動を支援する。		
	・花と緑の協議会・・・緑の募金、石狩川歴史の森植樹祭、花壇コンクール、花めぐりツアーなど(関係18団体) ・フラワーマスター連絡協議会・・・花めぐりツアー、小さな写真展、市民向け講習会など(関係1団体) ・緑化推進協議会・・・はまなすの丘景観保全作業、花川南防風林希少植物保護作業など(関係6団体)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	地球温暖化などの問題から、市内の緑化活動は行政のみならず民間の団体やボランティアグループにおいて活発化している。		
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業 の コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	50	50	50	38
			小計(A)	千円	50	50	50	38
		人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.50	0.50	0.50	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()		人					
	従事正職員の人件費		千円	4,433	4,573	4,573		
	その他間接経費		千円					
小計(B)	千円		4,433	4,573	4,573			
総コスト(A)+(B)			千円	4,483	4,623	4,623		
事業費の 使途等	【消耗品費】 石狩川歴史の森植樹祭 (苗木ポット等) 50千円							

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	石狩川歴史の森植樹祭	本	目標値	250	250	250	250
	目標:事業計画		実績値	250	250	250	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	フラワーマスター連絡協議会(市民向け講習会)	回	目標値	1	1	1	1
	目標:事業計画		実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	はまなすの丘景観保全作業	回	目標値	2	2	2	2
	目標:事業計画		実績値	2	2	2	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	花と緑の推進活動に参加したことがある市民の割合	%	目標値	53.2	53.2	53.2	53.2
	目標:総合計画		実績値	63.6	58.8	58.3	
			達成率	119.5	110.5	109.6	
	フラワーマスター連絡協議会(市民向け講習会)参加人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	40	40	50	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	● 達成 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い 概ね効率的 低い	最低限の予算の中で高い効果を上げている。
	成果の向上余地	かなりある 多少ある ● さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない	市民との協働事業なので、一方的には廃止できない。
	現状の課題	市民の参加活動割合が低下してきている。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 各団体の活動内容のPRを進めていく。				
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 引き続き、最小限のコストで実施していく。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	
			概ね達成				概ね効率的	
			達成していない				低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響		大きい	
			高い				小さい	
			高くない				ない	
現状の課題								
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他						
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他						

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 - 3	事業名	河川緑地広場整備事業							
総合計画	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち							
	策	2	公園・緑地・水辺の整備							
	施 策 (小)	2	水とみどりのふれあい空間を創造							
平成23年度担当	所管	建設水道部 管理課	課長	本間 孝之	担当	成松 泰彦	電話	72-6122	内線	233
平成22年度担当	所管	建設水道部 管理課	課長	松本 博	担当	成松 泰彦				
予算科目	会 計	一般会計 (8 款 3 項 1 目)				事業名	河川緑化広場整備事業費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	石狩河口パークゴルフ場協働運営事業交付金交付要綱									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 17 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市民	→	対象数 61,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	石狩河口パークゴルフ場を設置・維持し、良好な河川緑地の活用を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	市と協働で石狩河口パークゴルフ場の維持管理を行う「本町・八幡パークゴルフ振興協会」に対し、交付金を交付する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	本町・ヤウスバ・八幡地区の市民からの要望により設置した。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
利用者から事業の維持継続の要望がある。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業 の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	1,350	1,343	1,343	1,954
	小計(A)			千円	1,350	1,343	1,343	1,954
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	1.40	1.40	1.40	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()		人				
		従事正職員の人件費		千円	12,411	12,804	12,804	
		その他間接経費		千円				
		小計(B)		千円	12,411	12,804	12,804	
	総コスト(A)+(B)			千円	13,761	14,147	14,147	

事業費の 使途等	・石狩河口パークゴルフ場協働運営事業交付金 500千円 ・コース内芝生整備 473千円 ・その他の維持管理費 370千円
-------------	---

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	パークゴルフ場開場日数	日	目標値	157	161	160	161
			実績値	155	150	141	
			達成率	98.7	93.2	88.1	
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	入場者数	人	目標値	8,000	8,000	8,000	8,000
			実績値	7,530	7,597	7,263	
			達成率	94.1	95.0	90.8	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	☒ 高い ☐ 概ね効率的 ☐ 低い	市民との協働により、最小限の事業費で効率的に成果を上げている。
	成果の向上余地	☒ かなりある ☐ 多少ある ☐ さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	☒ 大きい ☐ 小さい ☐ ない	河川緑地の適正な維持管理に支障をきたす。
現状の課題		管理する地域町内会の高齢化や人材不足など、将来にわたる安定的な管理体制の維持。				
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☒ 現行通り ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 地域との協働事業であることから、市としても可能な限りバックアップを行い、市民の憩いの場を維持できるよう努める。				
	事業コスト	☐ 増加 ☒ 現行水準 ☐ 減少 ☐ 予算なし ☐ その他 引き続き、地域との協働で必要最小限のコストで実施していく。				

事業に対する市民意見等

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	
			概ね達成				概ね効率的	
			達成していない				低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響		大きい	
			高い				小さい	
			高くない				ない	
現状の課題								
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他						
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他						

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 - 4	事業名	花いっぱい運動事業							
総合計画	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち				4	豊かな自然を守り育て活かすまち		
	策	2	公園・緑地・水辺の整備				4	景観づくりの推進		
	施 策 (小)	3	花があふれるまちの創出				3	より良い景観の創出		
平成23年度担当	所管	建設水道部 都市整備課	課長	青木 雅俊	担当	岡田 祥治	電話	72-3139	内線	252
平成22年度担当	所管	建設水道部 都市整備課	課長	本間 孝之	担当	勝又 治孝				
予算科目	会 計	一般会計 (4 款 2 項 5 目)				事業名	花いっぱい運動事業費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	公園緑地事業実務要領									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 9 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	花いっぱい運動実施団体(町内会、小中学校、保育園、民間団体など)	→	対象数 不詳
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	市道植樹帯、公園等の公共施設の美化を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	花の苗などを配布し、市民との協働により、公共スペースを花で飾る。 ・11月～12月 次年度花いっぱい運動参加団体・申込苗数受付 ・1月 花苗購入 ・2月 花いっぱい運動参加団体へ配布数決定通知 ・5月～6月 花苗配布・植え込み		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	一部団体が、地域の美化運動の一環として、以前から自主的に取り組んでいたものを、平成8年市政施行を機に平成9年から市制記念事業として市内でもまちづくり推進と併せて町内会活動の活性化を図ることを目的に実施している。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
実施団体から、植樹帯の黒土補充要望や花の配布数の増加の要望がある。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
H21年度に引き続き、自宅での花の種子からの栽培が可能かどうか、市職員をはじめ、花と緑の協議会役員やフラワーマスターの協力により、試験栽培を実施した。			

事業 の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	3,570	3,979	3,979	4,300
	小計(A)			千円	3,570	3,979	3,979	4,300
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	0.50	0.50	0.50	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()		人				
		従事正職員の人件費		千円	4,433	4,573	4,573	
		その他間接経費		千円				
		小計(B)		千円	4,433	4,573	4,573	
	総コスト(A)+(B)			千円	8,003	8,552	8,552	

事業費の使途等	【消耗品費】		
	花苗 1年草	41,756株	3,925千円
	種子 ミニひまわり	8,570粒	54千円

5 - 4 花いっぱい運動事業

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	配布団体	団体	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	111	112	116	
			達成率				
	配布苗数	株	目標値	41,117	41,756	41,480	41,451
			実績値	41,117	41,756	41,480	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	目標:予算措置数		目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	花と緑の推進活動に参加したことがある市民の割合	%	目標値	53.2	53.2	53.2	53.2
			実績値	63.6	58.8	58.3	
			達成率	119.5	110.5	109.6	
	目標:総合計画		目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	● 達成 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い 概ね効率的 低い	街路植樹帯や公園に花苗を植えることで、まちの景観や施設の維持管理上の効果がある。
	成果の向上余地	● かなりある ● 多少ある さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない	市民との協働事業であり、廃止による影響は大きい。
現状の課題		黒土補充や花の配布数の増加。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ● 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 黒土の補充については計画的に進めていく。花の配布数の増加については方法も含めて検討を行う。				
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 コスト削減を図るために、自宅での種子からの栽培に向けて、試験栽培を継続実施していく。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他				
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 - 5	事業名	あつたふるさとの森事業							
総合計画	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち							
	策	2	公園・緑地・水辺の整備							
	施 策 (小)	4	豊かな森林などの自然の保全・育成・活用							
平成23年度担当	所管	建設水道部 魚つきの森プロジェクト担当	参事	清水 雅季	担当		電話	72-3111	内線	270
平成22年度担当	所管	建設水道部 管理課	参事	松本 博	担当	福田 正人				
予算科目	会 計	一般会計 (8 款 5 項 4 目)		事業名	あつたふるさとの森事業費					
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 20 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市民	→	対象数 61,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	市有地200haの森林化を進め、多目的機能(レクリエーションの場の創出、地球温暖化の防止、生物の多様性の保全など)を発揮させるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	・市民ワークショップによる森づくりに対する意見の取りまとめ ・森林ボランティア等の参加による植樹活動の実施 ・道による治山事業76haの推進		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	当該地は、厚田村時代に民間事業者がゴルフ場を主体としたリゾート開発を計画したが、実現せず、その後、同村が用地買収し、「ふるさと公園」として計画し取り進めようとしてきた。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
平成20、21年度に、学識経験者、関係団体、学生、および一般公募者によるワークショップを行い、森づくりの方向性について、意見の取りまとめを行った。			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
・道の治山事業の実施が決定した。 ・厚田区の森林ボランティア、あつたの森支援の会「やまどり」が1,000本の植樹を行った。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円			436	520
		一般財源	千円	1,530	1,226	404	436
	小計(A)		千円	1,530	1,226	840	956
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.20	0.20	0.17	特定財源名及び補助率・充当率 公園占用料(北電)436
		正職員(建)管理課・厚)地域振興課)	人			0.20	
		従事正職員の人件費	千円	1,773	1,829	3,384	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	1,773	1,829	3,384	
	総コスト(A)+(B)		千円	3,303	3,055	4,224	

事業費の使途等	【苗木の購入】	525千円
	【作業道維持管理】	315千円

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	ワークショップ開催数	回	目標値	4	1	未設定	未設定
			実績値	4	1	0	
			達成率	100.0	100.0	#VALUE!	
	植樹活動回数	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1	2	2	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	植樹本数	本	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	869	888	1,820	
			達成率				
	植樹活動への参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	218	186	241	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	● 達成 概ね達成 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い 概ね効率的 低い	ボランティアで植樹を行っているため、極めて低コストで実施できている。
	成果の向上余地	● かなりある 多少ある さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない	ボランティアを主体とする長期的な事業となるため、市のコーディネートは引き続き必要である。
現状の課題		今後、森づくりを継続的に進めていくためには、さらに多くの市民や団体に参画してもらうための、新たな仕組みづくりが必要となってきている。				
今後の方向性	事業内容	● 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 新たな市民参加の手法の導入や、資金調達など、様々な観点から内容を再検討する。				
	事業コスト	● 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 持続可能な事業となるよう、民間資金や国費の導入の可能性も検討していく。				

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他				
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号		5 - 6		事業名		厚田の森支援組織サポート事業								
総合計画	マ	8	地域の輝きを大切に				4	豊かな自然を守り育て活かすまち						
	策	3	適切、計画的な土地利用				2	公園・緑地・水辺の整備						
	施 策 (小)	1	自然環境の保全と活用				4	豊かな森林などの自然の保全・育成・活用						
平成23年度担当		所管	厚田支所 地域振興課		課長	高田 靖仁		担当	栗谷 幸介		電話	78-2012	内線	124
平成22年度担当		所管	厚田支所 地域振興課		課長	池 垣 旬		担当	高田 靖仁					
予算科目		会 計		一般会計 (2 款 3 項 7 目)		事業名		森林環境保全整備等活動支援事業費						
事務分類		☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)												
実施形態		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☒ その他												
根拠法令、条例等														
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 平成 20 年度 ~ 未定 年度												

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)			
	あつたの森を支援する会「やまどり」	→	対象数	1 団体
	会員数	→	対象数	60 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標
	厚田区の森林に対する関心を高め、森林を守り・山づくりに寄与し、山のすばらしさを多くの人たちと共有できるようにする。			
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)			活動指標
	市有林の下草刈・枝打ち、苗植え等の活動により、保育・育成の手助けを行う『あつたの森を支援する会「やまどり」』に対し、補助金を交付する。 ・支援内容～基金を活用し、森林保全等の活動に必要な資機材の購入など。			
	④事業実施の背景・個別計画等			
	植林後十分に管理の行き届かない市有林の草刈り、枝打ち、除間伐などに取り組むため、平成20年度に会を設立。			
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
厚田区地域協議会で、この組織の活動を地域振興事業の一つとして位置付けられた。				
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果				
基金の活用により、活動に必要な資機材等を購入した。				

事業のコスト	事業費	財源内訳		単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
			国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円			1,500	
			小計(A)	千円	0	0	1,500	0
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.10	0.10	0.20	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人					
		従事正職員の人件費	千円		887	915	1,829	
		その他間接経費	千円					
		小計(B)	千円		887	915	1,829	
	総コスト(A)+(B)		千円		887	915	3,329	

刈払機・チェーンソー等資機材購入補助 1,500千円

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	支援活動(下草刈り・枝打ち)実施回数	回	目標値		5	8	10
			実績値		5	17	
	目標:会の事業計画		達成率		100.0	212.5	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	保育・育成等作業に従事した人数	人	目標値		75	150	180
			実績値		84	216	
	目標:会の事業計画		達成率		112.0	144.0	
	「やまどり」の会会員数	人	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		70	58	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	達成 概ね達成 ● 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	● 高い 概ね効率的 低い	最低限の予算の中で概ね効率的に事業実施されている。
	成果の向上余地	かなりある ● 多少ある さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	● 大きい 小さい ない	市有林の保育・育成の手助けができず影響は大きい。
	現状の課題	会員は60名ほど存在するが、事業参加者は限られた人で行われており、多くの参加者により活動することが課題となっている。				
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ● 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他 より多くの方が参加できるよう、これまで活動規模の小さかった「植樹」活動などの支援内容の充実に向け、検討を進める。				
	事業コスト	○ 増加 ● 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他 引き続き必要最低限の予算で事業を進め、コスト縮減に努める				

事業に対する市民意見等

部長評価(2次)		担当部長		尾山忠洋				
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	事業の成果についての検証		達成	効率性	費用対効果の視点での検証		高い	
			概ね達成				概ね効率的	
			達成していない				低い	
	施策への貢献度からみた優先度		極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響		大きい	
			高い				小さい	
			高くない				ない	
現状の課題								
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他						
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他						

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号		5 - 7		事業名		公園維持管理事業												
総合計画	テ	一	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち													
	施策			2	公園・緑地・水辺の整備													
	施策（小）			5	公園維持管理の推進													
平成23年度担当		所管		建設水道部 管理課			課長	本間 孝之		担当	福田 正人		電話	72-6122		内線	233	
平成22年度担当		所管		建設水道部 管理課			課長	松本 博		担当	福田 正人							
予算科目		会計		一般会計（ 8 款 5 項 4 目 ）					事業名		公園維持管理費							
事務分類				☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 →（裁量性 ☒ 高い ☐ 低い）														
実施形態				☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他														
根拠法令、条例等				都市公園法、石狩市公園条例														
事業期間				☐ 単年度のみ ☒ 平成 不明 年度 ～ 永続 年度														

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	公園利用者(市外の者も含む)	→	対象数 不詳
	公園数(都市公園:135箇所+その他の公園:15箇所)	→	対象数 150 箇所
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	市民が安全で快適に公園を利用できるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	公園施設の補修のうち規模の小さいものを行う。 ・指定管理者(石狩総合管理協同組合・石狩観光協会)に管理を委託する。 石狩総合管理協同組合(H20～H23)⇒石狩ふれあいの杜公園など市内147公園 (社)石狩観光協会(H21～H24)⇒石狩市はまなすの丘公園など3公園		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	都市公園法、石狩市公園条例に基づき管理をしている。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
地域住民や公園利用者からの苦情・要望等については、62件あった。(H22)			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業 の コスト				単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
	事業費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	400	432	509	480
			一般財源	千円	121,851	120,890	126,600	120,759
	小計(A)			千円	122,251	121,322	127,109	121,239
	人 件 費 等	正職員従事人数(担当課)		人	1.20	1.20	0.70	特定財源名及び補助率・充当率 公園占用料・使用料
		正職員()		人				
		従事正職員の人件費		千円	10,638	10,975	6,402	
その他間接経費		千円						
小計(B)		千円	10,638	10,975	6,402			
総コスト(A)+(B)			千円	132,889	132,297	133,511		
事業費 の 使 途 等	・石狩市公園管理業務委託(指定管理)					109,935千円		
	・石狩市はまなすの丘等公園管理業務委託(指定管理)					7,847千円		
	・厚田資料室外部塗装・防水修繕					4,778千円		
	・厚田公園キャンプ場園路修繕					451千円		
	・その他修繕料等					4,098千円		

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	修繕件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	
			実績値	54	51	52	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	利用件数(野球場 7箇所)	件	目標値	未設定	未設定	未設定	
			実績値	682	656	583	
			達成率				
	利用件数(庭球場 6箇所・23コート)	件	目標値	未設定	未設定	未設定	
			実績値	3,251	3,311	3,249	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	☒ 高い ☐ 概ね効率的 ☐ 低い	必要最小限のコストで適正な管理が行われている。
	成果の向上余地	☒ かなりある ☐ 多少ある ☐ さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	☒ 大きい ☐ 小さい ☐ ない	公園利用者の安全が図れないばかりか、近隣の住環境に与える影響が大きい。
現状の課題		老朽化した公園施設が非常に多くなっている。				
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☐ 現行通り ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 公園施設長寿命化計画に基づき計画的な修繕を進めていく。				
	事業コスト	☒ 増加 ☐ 現行水準 ☐ 減少 ☐ 予算なし ☐ その他 長寿命化を図るため修繕費の増大が見込まれる。				

事業に対する市民意見等

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他				
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他				

平成23年度(22年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 - 8	事業名	公園改修事業									
総合計画	マ	4	豊かな自然を守り育て活かすまち									
	策	2	公園・緑地・水辺の整備									
	施 策 (小)	5	公園維持管理の推進									
平成23年度担当	所管	建設水道部 管理課	課長	本間 孝之	担当	福田 正人	電話	72-6122	内線	233		
平成22年度担当	所管	建設水道部 管理課	課長	松本 博	担当	福田 正人						
予算科目	会 計	一般会計 (8 款 5 項 4 目) 事業名 公園改修事業費										
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)											
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他											
根拠法令、条例等	都市公園法、石狩市公園条例											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 不明 年度 ~ 永続 年度											

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	公園利用者(市外の者も含む)	→	対象数 不詳
	公園数(都市公園:135箇所+その他の公園:15箇所)	→	対象数 150 箇所
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	市民が安全で快適に公園を利用できるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	公園施設の補修のうち、規模の大きいものについて、工事設計・監督を行う。 ・公園の現状把握を行う。 ・地元町内会との意見調整を行う。 ・公園施設長寿命化計画に基づき、補修を行う。 (老朽化している公園の遊具やフェンスなどの取替)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	都市公園法、石狩市公園条例に基づき管理をしている。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
地域住民や公園利用者からの苦情・要望等については、62件あった。(H22)			
⑥平成22年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
厚田公園内の戸田生家の改修や、紅葉山公園への健康遊具の設置、青葉公園野球場の芝生張替え等。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H20	H21	H22(見込)	H23(予算)
事業のコスト		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円			1,000	
		一般財源	千円	7,612	3,943	4,035	6,000
	小計(A)		千円	7,612	3,943	5,035	6,000
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.60	0.60	0.30	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				「H22石狩市ふるさと応援寄付金」
		従事正職員の人件費	千円	5,319	5,488	2,744	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	5,319	5,488	2,744	
	総コスト(A)+(B)		千円	12,931	9,431	7,779	
事業費の使途等		・戸田生家改修工事 1,050千円 ・健康遊具設置工事 1,103千円 ・青葉公園野球場芝生改修工事等7件 2,882千円					

活動指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	工事発注件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	
			実績値	11	5	9	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H20	H21	H22	H23
	利用件数(野球場 7箇所)	件	目標値	未設定	未設定	未設定	
			実績値	682	656	583	
			達成率				
	利用件数(庭球場 6箇所・23コート)	件	目標値	未設定	未設定	未設定	
			実績値	3,251	3,311	3,249	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)						
有効性	事業の成果についての検証	☒ 達成 ☒ 概ね達成 ☐ 達成していない	効率性	費用対効果の視点での検証	☒ 高い ☒ 概ね効率的 ☐ 低い	必要最小限のコストで適正な管理が行われている。
	成果の向上余地	☒ かなりある ☒ 多少ある ☐ さほどない	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	☒ 大きい ☐ 小さい ☐ ない	公園利用者の安全が図れないばかりか、近隣の住環境に与える影響が大きい。
現状の課題		老朽化した公園施設が非常に多くなってきている。				
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☒ 現行通り ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 野球場やテニスコートなど、公園施設全般の計画的改修を進める。				
	事業コスト	☐ 増加 ☒ 現行水準 ☐ 減少 ☐ 予算なし ☐ その他 引き続き、計画的改修に要するコストは必要となる。				

事業に対する市民意見等

部長評価(2次)		担当部長				
市民意見等に対する回答		反映				
		一部反映				
		不採用				
		実施済み				
		参考				
有効性	事業の成果についての検証	達成	効率性	費用対効果の視点での検証	高い	
		概ね達成			概ね効率的	
		達成していない			低い	
	施策への貢献度からみた優先度	極めて高い	妥当性	事業を縮小・廃止した場合の影響	大きい	
		高い			小さい	
		高くない			ない	
現状の課題						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 現行通り ○ 改善 ○ 縮小 ○ 廃止・休止 ○ その他				
	事業コスト	○ 増加 ○ 現行水準 ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他				

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（公園・緑地・水辺の整備）

施策／事業名		評価意見案もしくは確認事項等	回答
総論・共通事項等		●総合計画【現状と課題】に、「地域性や歴史性を活かした、新たな発想に基づく空間づくり」とありますが、中長期的にどのように考えられていますか。（管理課）	●少子高齢化社会の到来や地域ニーズの多様化等を踏まえ、従来のような行政主導の公園づくりから、地域意見を取り入れた公園づくりを心がけている。
		●総合計画【成果指標】で、施策評価シート【（１）現状の評価】では、「推進活動の普及により、目標を達成している」とあります。この指標１（㎡）,２(箇所)の主たる具体性を教えてください。（管理課、都市整備課）	●指標１：面積 1,222,782 ㎡、人口 55,869 人 指標２：花川東ハルニレ公園、花川東中緑地
		●花いっぱい・緑化の推進に当たって、町内会もしくは推進団体にどのような支援策をとられているのですか。（都市整備課）	●活動団体の事務局を行い、活動の下支えをしています。
個別事業	緑化推進団体支援事業 （都市整備課）	●推進団体と町内会の推進事業との整合は図られていますか。	●団体としての直接的な連携活動はなく、団体の構成員の方が町内活動にも参加しているのが現状であります。
		●一般財源は石狩川歴史の森植樹祭に全額使われていますが、その他事業の予算はないのですか	●特にありません。
	河川緑地広場整備事業 （管理課）	●石狩河口パークゴルフの使用料は、かなり安い料金ですが交付金との関係を教えてください。	●市民との協働事業として平成 17 年から運営している。 年間運営費約 130 万円のうち、交付金として 50 万円を交付している。寄付金収入は約 80 万円を見込んでいる。（100 円/回）
	花いっぱい運動事業 （都市整備課）	●主要な公園への美化活動と助成について教えてください。	●今年度は、町内会等で 9 公園に花を植えております。
		●H21 と H22 年に種子からの試験栽培を実施の結果は？ ●試験栽培の成果？見通しについて	●H21 は開花率が悪く、H22 は遅効性の肥料を使って試験しています。開花率は今後の状況次第ではありますが良好と予想しています。この成果を周知して、町内会等に試してもらいたいと考えています。

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（公園・緑地・水辺の整備）

		●町内会で道路に面したスペースに 5 月に苗を植えているが市からは苗が「400」くらいしか支給されず、とても足りないため、町内会からの持ち出しが年間 4 万円前後となっている。一部の人からは支給された分だけやればいいという意見もあるが見栄えが悪いので、仕方なく持ち出ししているのが現実。土おこし、苗を植える、草取り、水遣りなど住民はやっているのに、市はせめてスペースに見合った数の苗を提供すべきだと思うが？	●花いっぱい運動の目的の一つである「町内会活動の活性化」を図る意味でも、協力をお願いしたい。 市の厳しい財政環境からご要望に沿える予算確保は難しい状況です。 今後、この運動が「配布された花を植えて頂く運動」から「自分で育てた花を自分達の地域に植える運動」へのステップアップを目指していきたい。
		●植樹帯の黒土補充へのシルバー人材センター腐葉土の活用の方 考え方について	●今後、検討していきたい。
	公園整備事業 (都市整備課)	●効率性のコメントで「地域ニーズを踏まえた計画的な整備により、利用者の増加が見込まれる」と記述されていますが、公園の面や箇所との関係から、全体的にそうであると言えるかと判断してよろしいですか。	●過去に整備した公園について、地域からも好評を得ていることから、そのように判断しています。
		●公園用具の老朽化というが少子化で公園遊具が余り必要としない公園も出てきているのではないかと？むしろ住民が談笑できるベンチ、棟屋などが求められているのでは	●町内会（地域）ごとにニーズが違うことから、聞き取りを行いながら、整備を行っています。
	あつたふるさとの森事業 (魚つきの森プロジェクト担当)	●今後の方向性についてお聞かせください。	●牧草丘陵地を森林に再生し、「森と海がつながる自然循環のつながりが体験できる場」としたい。 現在の植林ペースでは森の再生に 100 年以上を要するため、期間を短縮し事業効果を高めるため、民間資金やその他の資金の活用等が重要。 森づくりを通じて、「環境」「学術」「教育」「観光」「市民協働」「地域振興」等、多方面に様々な効果が発揮されることを期待。
	厚田の森支援組織サポート事業	●やまどりについての活動状況と厚田地域とのかかわりについて教えてください。	●あつたの森支援の会「やまどり」は、平成 20 年 3 月厚田区の自然を愛する仲間が集い誕生。現在会員数は 60 名、昨年度は「地域

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（公園・緑地・水辺の整備）

	(厚・地域振興課)		づくり基金」を活用し、活動に必要な資機材の購入、市有林の下草刈り、徐間伐・枝打ちや、厚田公園内の車歩道の草刈り、仮称「厚田ふるさとの森」8,000 m²に「ミズナラ」「イタヤカエデ」「ネグンドカエデ」の三種類 1,000 本の植樹を行いました。 植林後、十分に管理が行き届かない市有林をそのまま放置しておくことはできないとの思いから、厚田区内の森林保全等に力を注ぎ活動しているものです。
	国有防風林保安林管理事務 (管理課)	●事業費は、ほとんどありませんが、防風保安林の現状について教えてください。	●道路に支障となる倒木の剪定・処理、カラスの巣の処理、不法投棄の処理など
		●パトロールの実態、不法投棄の対策効果について、教えてください。	●定期パトロールは実施していないが、自然愛護団体や森林愛護組合などと情報交換を行い状況把握に努めている。 不法投棄対策として、注意看板やノボリを設置している。
		●H23 年度の予算が増えているのは？	●カラスの巣の処理費や倒木処理費の増加による。
	公園維持管理事業／ 公園改修事業 (管理課)	●遊具・フェンスなどの安全性において、子供さんの安全の観点から維持管理をどのようにされているか教えてください。	●有資格者による年 2 回の詳細点検のほか、日常点検として月 2 回指定管理者による点検を実施。
		●整備の一つに、「水洗トイレの設置」もあると思われますが、設置予定の公園について、どれくらいの早さで整備されていくのでしょうか。	●現時点においては、新規に公園へのトイレの設置計画はございません。（トイレ設置公園数 24 箇所）
		●町内会など関連する関係者の協力はどうなっていますか。また、町内会などへの経費補助はどうなっているのでしょうか。	●指定管理者より町内会へ公園管理を再委託しており、地域の街区公園は地域で管理する体制となっている。（町内会への管理委託公園数 78 箇所）

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（公園・緑地・水辺の整備）

		●継続して運営を行うには、何かの指針を示すと、今後の事業の成果が上がるものと思いますが、どのようにお考えでしょうか。	●野球場やテニスコートなどの利用件数の増加を目標にしている。
		●【事業の内容⑤】の苦情、意見はどのような内容か。その対応は？	●苦情というよりは指摘や要望が多く、カラスの巣の撤去、ゴミの不法投棄、施設の破損、樹木の剪定、利用者のマナー等
		●石狩市公園管理事業委託の公園数とはまなすの丘等の等はどこですか？	●弁天歴史公園、親船町緑地（ポケットパーク）
		●長寿命化計画にかかる経費の予想額は？	●長寿命化に要する費用としては、10年間で約4,000万円を見込んでいる。 長寿命化によるコスト削減額は、約5億円となる。

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（景観づくりの推進）

施策／事業名		評価意見案もしくは確認事項等	回答
総論・共通事項等		●指標の名称欄に、満足している市民の割合とありますが、どのような方法で調査していますか？ベンチマークは何ですか。 （企画課）	●市民アンケート調査の結果に基づき、ベンチマークを設定しています。（指標１：<u>43.1%</u>以上、指標２：<u>35.9%</u>以上）。 ●調査方法は次のとおり。 ・調査地域：石狩市全域 ・調査対象者：石狩市に在住する満 20 歳以上の方 ・サンプル数：2,000（旧石狩 1,800、厚田区 100、浜益区 100） ・抽出方法：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法 ・実施方法：郵送
		●種々の事業において、連携先と協調してそれぞれの事業がいつまで継続されるか、ここ数年実施の事業とするのか。展望を示されることが経費の有効性を評価できるのではないか、展望と継続についての考えを示してほしい。 （環境課、海浜植物保護センター、都市整備課）	●自然環境保全事業は、基本的には、継続して市民等と市が協働して調査、保護、啓発事業を実施していく必要がある。当然ながら、場所、対象、対策によっては、期限のあるものもあるが、市、市民等が単独あるいは協働して、また断続的に展開していく。（環境課・石狩浜海浜植物保護センター） ●花いっぱい運動は、平成 9 年度から実施してきており、今後についても継続していき、自宅で種から育て、植える運動へステップアップしたい。（都市整備課）
個別事業	自然保護推進事業（環境課）	●自然環境の保全と市民との協働の観点から本施策は重要と思います、市民との協働としてどのように対応されていますか。中期的・短期的な視点から教えてください。	●全市域が対象であるが、現実的には身近な地域や立ち入りが可能な地域において、市民ボランティア登録制度により、登録市民とともに、自然環境調査や自然保護意識の啓発を主な活動としている。
		●委員会より「テーマが大きすぎて具体性をかいており、自然保護の考えが曖昧」と指摘されていますが、担当課としての考えは？ ●市（役所）が主体的に取り組む事業であるのか、NPO など法人に任せる事業なのか、事業はどこまで継続するのか。など市の事業としてのビジョンがわかりにくい。（このことは事業の具体的な場所や事項が特定できず、以前の委員会の指摘にもあるよう	●くくりとしての自然環境であり、具体性については、手段の項の事業内容で明らかにしている。「テーマが大きすぎる」には、主要な個別事業ごとにすることも考えられるが、むしろ全体が見えなくなるのではないかと？ ●前述のとおり。自然環境の保全は、保護意識の啓発という普遍的な事業と、特定の地域を対象にした実態把握、保護事業があり、具体性はある。テーマについては、環境基本計画に沿って、人と自然

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（景観づくりの推進）

		に、「テーマが大きすぎて具体性を欠く～」ことに由来するのではないのでしょうか。	が共生し、生態系が守られた望ましいまちの将来像に導いていくための施策と考えている。
		●活動指標環境調査 H21 と H22 年は目標と実績が違います。H22 年は実績「0」というのはなぜですか？（環境調査は H21 年で終了ですか？）	●調査は、天候、ボランティアとの調整、他の調査資料等により、変化する。文献資料収集での対応など、毎年、必ずしも現地調査に限らず、今後の調査カ所は、検討中である。
		●自然環境保護の観点から、重要と思いますが、具体的なもの、場所などを特定して、実行しようとしていますか？（資料から判然としません。） できれば資料などの提供をお願いします。	●事業の実施にあたっては、前述のとおり、観察会は、記念保護樹木を含め、市内自然地域をバスで巡り、植生調査は、黄金山に至る兼平沢林道及び黄金山登山道、厚田区発足林道、濃昼山道など、対象を特定している。
		●有効性欄「植生データの収集が滞り保全活動に支障」収集の滞りの要因について	●未調査地域は、生物多様性確保の面から、あまり人が入り込む前に既存調査含め、実態を把握しておく必要がある。
	海浜植物保全事業 （海浜植物保護センター）	●重要な環境保全地域への交通遮断についてどのような方法をとられていますか教えてください。また、被害状況は？	●保護区域は、偽木で。その他は単管とトラロープやワイヤロープによる車進入柵及び啓発看板設置。ロープを切断し、多数走行確認。
		●海浜植物保護センターの利用者数は？	●H20：7,929 人 H21：7,826 人 H22：9,321 人
		●保護センター事業計画の進捗は？	●自主規制している一般海浜区域は、保全の方向性が見えてきた。シップ地区も対象区域としていく。
		●【事業の内容⑤】に意見要望がありますが、その対応は？	●関係機関による連絡会議を設置し、新港までの海浜植生の保護区域化を検討していく。
		●石狩川河口海浜植物保護監視員の効果について。	●ハマボウフウなどの採取防止、散策者へのマナー普及啓発、問い合わせ、散策路の維持管理、動植物情報の把握など。
		●一日当たりの走行車両確認数実績値の考え方（何日で算出？）	●延べ走行（カウント）数を調査日数（H21：197 日、H22：189 日）で除した数値。
		●未規制地区の法令等による規制検討の法令等の種類（市条例？）	●自然環境保全法、自然公園法、道自然環境保全等条例、市石狩川河口海浜植物等保護条例などが検討対象法令。

行政評価委員会 評価意見案／確認事項等（景観づくりの推進）

	屋外広告物簡易除却 事務 (建築課)	●簡易とは？	●北海道屋外広告物条例に違反する広告物のうち、はり紙、はり札、 広告旗及び立て看板などの簡易な物件について、同条例第7条第4 項に基づいて除却を行っています。
		●違反広告物の具体的な除去方法について	●市職員が数名で年一回、電柱、街路灯等に設置されたはり紙等を 除却しています。
		●違法広告板について、同様選挙後のポスター看板も多々残って いますが、それらの扱いにはどのように考えられていますか。	●北海道屋外広告物条例では、他の法令の規定により表示し、又は 設置するものを適用除外と規定しており、公職選挙法などの規定に より設置されたものについては対象としておりません。
		●違法な屋内広告物とありますが、その違法性とはどの法律で、 どのような処置をされているのですか。(建築課)	●屋外広告物法に基づく、北海道屋外広告物条例により、広告物を 掲載することを禁止する、地域、場所、物件、及び許可が必要な地 域、場所が定められております。又これらの規定に違反した物件に ついては、許可の取り消し、設置停止命令、除却命令その他の措置 が規定されております。 石狩市におきましては、北海道からの権限委譲により北海道屋外 広告物条例第7条第4項に規定に基づき、はり紙、はり札等を除却 しております。